

学び舎通信2 一步前へ

尾張旭市立旭中学校
2年学年だより
第8号
平成30年9月18日

先達はあらまほしきことなり

今年の夏は、長野県千曲市にある森將軍塚古墳を訪れました。長野は以前住んでいたことがあり、これまで松本城、旧開智学校、善光寺、野尻湖、象山記念館（幕末に活躍した佐久間象山の記念館です）、松代象山地下壕などを訪問してきました。福井と並んでよく訪問する場所です。

森將軍塚古墳は山の上にある前方後円墳で、古墳の全長は約100メートルあります。長野県一の前方後円墳だそうです。卑弥呼のいた時代から100年ほど後の時代の古墳で、三角縁神獣鏡という銅鏡の破片が出土しています。「將軍塚」という名前から、かなり位の高い人の古墳だと感じていました。



古墳を見学していた折に、この古墳の周りにはかなりの数の「〇〇將軍塚」があることに気がきました。この地方を治めた王家の人たちの古墳かなと思い、ボランティアガイドの方にお聞きしました。「古墳の名前を付ける際、森という土地の偉い人の古墳ということで、森將軍塚古墳となった。他の場所もそうで、將軍の古墳という意味ではない」とのことでした。

古墳の名前からいろいろと想像を膨らませていましたが、思わず苦笑いをしてしまう命名の理由でした。



兼好法師の『徒然草』に、「少しのことにも、先達（指導者、案内人）はあらまほしきことなり（あってほしいものだ）」と書いてあります。私もそのことを改めて感じる旅行になりました。みなさんの夏はどうでしたか。また聞かせてください。

体験場所が決まりました

5日（水）第6時限に職場体験事業所決めを行いました。8月の出校日に配布された事業所一覧の用紙を見て決めておいた希望事業所へ一斉に移動しました。第一希望の体験事業所では決まらず、第二・第三希望の事業所で体験先が決まった人もいます。その中には、「さあ、やるぞ」という思いがくじかれてしまった人がいるかもしれません。しかし、これから行く場所で精一杯取り組むことが、新しい学びにつながります。みなさんの取り組みに期待しています。



今年の体育大会もドラマの予感が…学年競遊がカギを握りそうです

7日（金）と13日（木）の学年練習は、いつ雨が降ってきてもおかしくない天候のように思われました。何とか天気にも恵まれて運動場で入退場の行進、EMダンス、学年競遊の練習などをすることができました。

今年の学年競遊は、

- ① ピンポン球運び → ② ぐるぐるバット → ③ 綱くぐり → ④ ハードル
→ 以降、①・②・③・④ のくり返し



という障害物競走です。

スタートのピストルが鳴ると、お玉に乗せたピンポン球が落ちないように走り出します。

第二走者は、ぐるぐるバットです。各クラスの室長さんが5回回転しているかを見届けます。第三走者は綱くぐり、第四走者はハードルをし、手に持ったたすきをリレーします。

スタート当初は大きな差がなく、②の場所でカメラを構える私の目の前をみなさんが通過し

ていきました。が、何周かすると、クラスの差がついていきました。一回目はG組、二回目はB組がトップでゴールしました。みなさんの様子をカメラに収めていたとき、私のクラスのことを思い出しました。

その時のクラスの生徒は、「体育大会は勝てるわけがない」と漏らしていました。体育の授業で一緒に活動しているクラスとリレーをしたとき、周回遅れで敗れてしまったからです。隣のクラスには学年で一番速い男女がいます。それだけでなくバトンを落としてしまったり、次にバトンを渡す走者が見つけれなかったりなど、いくつもミスが重なって大きく出遅れていました。

理由がわかれば対策ができます。その後、ST、LTで話し合いを持ちました。本番のクラス対抗リレーでは、バトン渡しミスもなく、次の走者は必ず内側で待ち、声をかけてバトンをもらう姿がありました。途中からトップに立った私のクラスの生徒が学年のトップでゴールする時、私も一緒に走ってゴールしたのを思い出します。



全米バスケットボール大会で、3度の優勝経験があるバスケットボールコーチのボビー・ナイトはこう話しています。「勝つ意欲はたいして重要ではない。そんなものは誰もが持ち合わせている。重要なのは、勝つために準備する意欲である。」

体育大会は、今週末の9月21日（金）です。体調を整えて、この日を迎えてください。優勝を目指すことだけが、体育大会の目的ではありません。みなさんの知恵を集めて、各クラスのベストを目指してください。全ての競技が終了したとき、どんな結末が待っているのでしょうか。すべてのクラスにチャンスがあります。全力で頑張りましょう。

弁当は体育大会当日だけでなく、体育大会予備日の26日（水）も必要です。注意してください。

【文責：水野 千広】